

先物取引関連不祥事(2021.3～2021.7)

全データ(10件)

番号	当初掲載日	当初報道機関	地域	内容	大分類	分類	備考
1213	2021/3/13	中日新聞	群馬・長野	群馬県高崎市農協が西部支店に勤務していた三十代の男性職員が顧客の普通貯金から無断で引き出し、計1695万円を着服したと発表。懲戒解雇。元職員は着服を認め被害を全額弁済したが、農協は顧問弁護士と協議し、刑事告訴などの対応を検討。 元職員はFX投資(外国為替証拠金取引)の損失穴埋めに950万円を充て、生活費やゲームアプリにも使っていた。上司が訪問に同行するなどのチェック機能が働かなかった。	顧客の犯罪・不祥事	着服	
1214	2021/3/18	帝国データバンク	岐阜	(有)大器総業(資本金300万円、岐阜市九重町)が、3月3日に岐阜地裁より破産手続き開始決定を受けていた。 1985年(昭和60年)10月に商品先物取引を目的として設立されたもので、一時は億単位の利益を計上していたが、その後は大幅な損失が続いたために関連会社からの支援を受け、最近では不動産管理収入にとどまっていた。 申請時の負債は約2億3000万円。	業者の犯罪・不祥事	破産	
1215	2021/3/19	毎日新聞	福島	会津坂下町観光物産協会の事務局長の男性(39)が、協会の2020年度会計などから約685万円を着服していたことが判明。被害額は全額弁償済みで、刑事告訴はしない方針という。 男性は「先物取引などに使った。大変申し訳ない」などと話し、全額を返済。依願退職したという。	顧客の犯罪・不祥事	着服	
1216	2021/3/24	山形新聞	山形	山形市社会福祉協議会が介護事業における余剰金を原資に運用目的で購入した社債の評価額が暴落し、約7400万円の損失を出していた判明。発行元企業の信用度格付け等級が下がったのが原因で、見切りをつける対応が遅れた。市社協は「専門知識がある職員はいなかった」と対応が遅れた理由を説明。道義的責任を取り、会長は4月末で辞任する意向を示している。 市社協は2017年4月、証券会社の勧めを受けて約1億円で購入した。その後、信用度格付けが下がり、社債の市場価値が今月までに約2600万円まで下落した。		暴落	
1217	2021/3/27	茨城新聞	茨城	少年院「茨城農芸学院」(牛久市)が、スマートフォンを禁止区域内に持ち込み勤務中に外国為替証拠金取引(FX)や動画閲覧をしていたとして、男性法務教官(39)を戒告の懲戒処分にしたと発表。スマホを常態的に持ち込み、FXを382回行い、動画投稿サイトを32回閲覧するなどした。	顧客の犯罪・不祥事	職務怠慢	
1218	2021/5/14	毎日新聞	熊本	熊本県荒尾市の無職女性(73)に架空の社債購入を持ちかけ現金1700万円をだまし取ったとして、県警荒尾署が、福岡県大牟田市、無職被告(55)＝詐欺罪で起訴＝を詐欺容疑で再逮捕。「生活を楽にするためにお金が欲しくてやった」と容疑を認めている。 女性に対し、実在する会社名を挙げながら「購入するだけで利益が出る」などとうそを言って架空の社債購入を持ちかけ、8回にわたり計1700万円をだまし取ったとしている。 容疑者は当時、生命保険会社に勤務していた。	業者の犯罪・不祥事	投資詐欺	
1219	2021/6/9	朝日新聞	東京	外国為替証拠金取引(FX)で得た所得を隠して約4千万円を脱税したとして、東京国税局査察部が、投資会社「Funny Funny(フニフニ)」(東京都中央区、2019年7月に解散)の元代表(39)を法人税法違反容疑で東京地検に告発。 FXで得た所得を一部しか申告せず、2018年7月までの2年間で約1億7200万円の所得を隠した疑いがある。脱税で得た資金は、事業資金やマンションの購入代金に充てていたという。 元代表は、短時間で取引を繰り返す方法で利益を上げていたが、こうした取引は証券会社から禁じられており、発覚すれば口座が凍結される。このため、100人近い知人らから口座を集め、名義を変えて取引を続けていたという。	業者の犯罪・不祥事	脱税	

番号	当初掲載日	当初報道機関	地域	内容	大分類	分類	備考
1220	2021/6/23	福井新聞	福井	益茂証券(本社福井市)が、同社ホームページの管理システムが外部からアクセスできる状態となっており、顧客845人分の個人情報漏えいした可能性があると発表。 漏えいした可能性があるのは、外国為替証拠金取引(FX)サービス「くりっく365」をHPから申し込んだ49人分の氏名、住所、生年月日、勤務先、電話番号、銀行口座番号、金融資産額などと、相場情報を知らせる「メール会員」の申込者840人分の氏名、性別、メールアドレス。 管理システムへのアクセス記録の分析から、サイバー攻撃による情報の漏えいはないという。	業者の犯罪・不祥事	個人情報漏えい	
1221	2021/7/15	千葉日報	東京	IP電話回線の利用サービスを提供して特殊詐欺の犯行を助けたとして、千葉県警が、詐欺ほう助の疑いで東京都三鷹市、電気通信業(31)を逮捕。容疑者は100回線以上を特殊詐欺犯に提供していたとみられ、県警は全国で約2億5千万円の詐欺被害を確認、詳しい経緯を調べている。被害の大半が架空請求だった。同課は容疑者の回線を使っていた詐欺グループの解明を急ぐ。	業者の犯罪・不祥事	特殊詐欺幫助	
1222	2021/7/16	朝日新聞		フィリピンを拠点に特殊詐欺に関与したとして、警視庁が、同国から強制送還された男10人を窃盗容疑で逮捕。現地当局が2019年11月に拘束したが、コロナ禍で1年8カ月にわたり現地に留め置かれていた。ほかに収容されている男8人も近く強制送還される見通し。 捜査2課によると、10人は住所・職業不詳の20～27歳。マニラの廃ホテルを拠点に、日本の高齢者らにだましの電話をかける「かけ子」をしていたという。 警視庁が拠点を把握し、フィリピン当局に協力を要請。同国当局が男36人を拘束した。このうち18人は20年2月に強制送還され、東京地裁で懲役2年4カ月～4年6カ月の有罪判決を受けた。 無職だった2019年4月、SNS上で「高収入アルバイト募集」の投稿を見つけた。身分証のコピーを提出し、親の住所などを伝えると採用された。数日後、首都圏の民家に行くよう言われ、詐欺被害者から現金を受け取る「受け子」をするよう指示された。断ると、個人情報や親の話を持ち出され脅された。マニラ行きの指示は2カ月後。「1年で解放する」と言われ、渋々応じた。両親や交際相手には「仕事が見つかった」と説明した。約80人の日本人が連日、マニュアルや住所録をもとに1人あたり50件ほど電話をかけた。報酬は歩合制で、週5万～40万円。	業者の犯罪・不祥事	特殊詐欺	